



2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年6月12日

上場会社名 株式会社エコム 上場取引所 名
コード番号 6225 URL <https://ecom-jp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高梨 智志
問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 古橋 愛 TEL (053)585-6661
四半期報告書提出予定日 2024年6月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第3四半期の業績（2023年8月1日～2024年4月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	1,412	△18.8	106	△42.6	98	△42.2	69	△68.3
2023年7月期第3四半期	1,739	-	185	-	170	-	220	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第3四半期	38.32	-
2023年7月期第3四半期	126.31	-

- (注) 1. 当社は、2022年7月期第3四半期累計期間については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年7月期第3四半期累計期間に係る対前年同四半期増減率については記載していません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。
3. 当社は、2024年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第3四半期	3,758	2,926	77.9
2023年7月期	4,032	2,902	72.0

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 2,926百万円 2023年7月期 2,902百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	-	0.00	-	25.00	25.00
2024年7月期	-	0.00	-		
2024年7月期（予想）				25.00	25.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は、2024年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、配当金の額を記載しております。

3. 2024年7月期の業績予想（2023年8月1日～2024年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,450	2.9	246	1.0	248	8.4	181	△34.7	99.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期3Q	2,109,000株	2023年7月期	2,109,000株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	284,000株	2023年7月期	284,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期3Q	1,825,000株	2023年7月期3Q	1,748,458株

（注）1. 当社は、2024年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	2
(2) 財政状態の状況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、国内消費やインバウンド需要が改善する中、緩やかな回復傾向にあります。一方で長期化するロシア・ウクライナ情勢、大幅な円安や物価上昇の影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は企業ミッションである「加熱技術で環境問題に取り組む企業」を掲げ、製造業における加熱プロセスの省エネ化に 대응べく新規設備導入や既存設備に対する省エネ対策工事等、お客様のニーズに合わせた提案を展開してまいりました。

また、当社は2024年4月1日付で株式会社豊通テックよりリジェネバーナー事業を譲り受ける等積極的な事業展開を行いました。今後もより一層、顧客の幅広いニーズに対応できるよう取り組んでまいります。

当第3四半期累計期間における業績につきましては、保守サービス事業におけるメンテナンスや工事が堅調に推移している一方、産業システム事業においては、従前から続く部品供給不足への対応が少しずつ回復傾向にはあるものの、製品の長納期化が解消されない状況が続いております。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,412百万円（前年同期比18.8%減）、営業利益106百万円（前年同期比42.6%減）、経常利益98百万円（前年同期比42.2%減）、四半期純利益69百万円（前年同期比68.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

(産業システム事業)

産業システム事業におきましては、製造業におけるカーボンニュートラルへの機運が高まる中、コロナ禍で低迷していた新規設備投資の動きが感じられる一方で、製品の長納期化等の影響により設備売上は減収となりました。

この結果、当第3四半期累計期間に属するセグメント売上高は885百万円（前年同期比26.7%減）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は96百万円（前年同期比36.8%減）となりました。

(保守サービス事業)

保守サービス事業におきましては、点検案件が前年同期と比較して堅調に推移いたしました。環境問題に対する関心の高まりから、省エネ改造工事等カーボンニュートラル関連の需要は、保守サービス事業においても依然として高い状態が続いているものの、部品販売及び工事案件は前年同期と比較して微減しました。

この結果、当第3四半期累計期間に属するセグメント売上高は527百万円（前年同期比0.7%減）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は143百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産合計は2,461百万円となり、前事業年度末に比べ251百万円減少いたしました。これは主として、仕掛金が130百万円増加、原材料が16百万円増加した一方で、現金及び預金が309百万円減少、受取手形及び売掛金が107百万円減少したことによるものであります。固定資産合計は1,296百万円となり、前事業年度末に比べ22百万円減少いたしました。これは主として、減価償却による減少であります。

この結果、資産合計は3,758百万円となり、前事業年度末に比べ274百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債合計は470百万円となり、前事業年度末に比べ266百万円減少いたしました。これは主として、支払手形及び買掛金が105百万円減少、未払法人税等が95百万円減少、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が72百万円減少したことによるものであります。固定負債合計は361百万円となり、前事業年度末に比べ31百万円減少いたしました。これは主として、長期借入金が32百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は831百万円となり、前事業年度末に比べ298百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、2,926百万円となり、前事業年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が24百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は77.9%（前事業年度末は72.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期の業績予想につきましては、2024年3月13日に公表いたしました「2024年7月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載した内容から変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,817,973	1,508,494
受取手形及び売掛金	470,257	363,223
仕掛品	371,720	502,481
原材料	38,391	54,990
その他	14,797	32,798
流動資産合計	2,713,139	2,461,987
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	821,110	787,945
土地	338,655	338,655
その他（純額）	111,276	97,935
有形固定資産合計	1,271,042	1,224,536
無形固定資産		
のれん	—	24,583
その他	5,744	3,999
無形固定資産合計	5,744	28,582
投資その他の資産	42,780	43,465
固定資産合計	1,319,567	1,296,584
資産合計	4,032,707	3,758,572
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	357,362	252,304
1年内返済予定の長期借入金	42,864	42,864
未払法人税等	95,684	—
引当金	21,313	36,708
その他	219,801	138,526
流動負債合計	737,025	470,403
固定負債		
長期借入金	192,840	160,692
役員退職慰労引当金	115,625	119,684
退職給付引当金	57,411	63,404
その他	27,450	17,728
固定負債合計	393,326	361,510
負債合計	1,130,352	831,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,684	131,684
資本剰余金	59,854	59,854
利益剰余金	3,080,015	3,104,319
自己株式	△369,200	△369,200
株主資本合計	2,902,354	2,926,658
純資産合計	2,902,354	2,926,658
負債純資産合計	4,032,707	3,758,572

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	1,739,141	1,412,687
売上原価	1,256,494	970,555
売上総利益	482,647	442,132
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	70,027	88,433
役員報酬	44,526	43,272
減価償却費	19,226	27,969
賞与引当金繰入額	9,583	13,066
役員退職慰労引当金繰入額	8,024	8,259
その他	145,451	154,550
販売費及び一般管理費合計	296,839	335,551
営業利益	185,808	106,580
営業外収益		
受取利息	11	15
受取保険金	—	1,430
出向者負担金受入額	1,395	—
受取清算金	—	1,173
スクラップ売却益	869	731
その他	1,414	107
営業外収益合計	3,690	3,458
営業外費用		
支払利息	721	605
上場関連費用	17,449	—
事業譲受関連費用	—	10,267
その他	1,312	876
営業外費用合計	19,483	11,749
経常利益	170,015	98,289
特別利益		
固定資産売却益	92,350	—
補助金収入	57,261	5,436
特別利益合計	149,611	5,436
特別損失		
固定資産除却損	5,418	905
特別損失合計	5,418	905
税引前四半期純利益	314,207	102,819
法人税、住民税及び事業税	112,013	42,613
法人税等調整額	△18,656	△9,722
法人税等合計	93,356	32,891
四半期純利益	220,851	69,928

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	産業システム 事業	保守サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,208,526	530,615	1,739,141	—	1,739,141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,208,526	530,615	1,739,141	—	1,739,141
セグメント利益	152,522	152,851	305,373	△119,565	185,808

(注) 1. セグメント利益の調整額△119,565千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 2023年8月1日 至 2024年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	産業システム 事業	保守サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	885,590	527,097	1,412,687	—	1,412,687
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	885,590	527,097	1,412,687	—	1,412,687
セグメント利益	96,451	143,027	239,478	△132,897	106,580

(注) 1. セグメント利益の調整額△132,897千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

株式会社豊通テックから事業譲渡を受けたことにより、当第3四半期累計期間において、「保守サービス」セグメントの、のれんが24,583千円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。